

～科学技術イノベーション政策に寄与する研究開発プログラムをめざして～

「科学技術イノベーション政策のための科学」では、研究開発活動の成果が政策のためにいかに寄与するかがポイントです。公募プログラムの採択においても、その点が採択基準になるばかりでなく、採択された後の研究開発活動においても、さらに政策のために資する成果になっていくように意図されています。

今回は、プログラム全体が「科学技術イノベーション政策のための科学」という意味でより良い方向へ向かうように、海外からのアドバイスを受ける目的で、国際ワークショップを開催します。尚、「科学技術イノベーション政策の科学」構造化研究会との共催により開催し、文部科学省「科学技術イノベーション政策における『政策のための科学』推進事業」全体において、この研究開発プログラムが果たすべき役割等についても議論を行います。

日時：平成24年12月12日（水）9：30 - 12：30

場所：JST 東京本部別館 2階会議室A

【プログラム】

9:30 - インTRODakシヨン

- 9:35 主催者挨拶 JST-RISTEX センター長 有本 建男
- 9:45 「科学技術イノベーション政策のための科学」について
推進委員会主査 黒田 昌裕（慶應義塾大学 名誉教授）

9:45 - 9:55 海外招聘者の紹介

Dr. Martha Russell Media X, Stanford University
Prof. Andrew Stirling SPRU, University of Sussex

10:00 - 『科学技術イノベーション政策のための科学 研究開発プログラム』について

- 10:15 プログラムの展開と政策実践へのブリッジ
プログラム総括 森田 朗（学習院大学法学部 教授）
- 10:25 質疑応答
- 10:40 研究開発プロジェクトの紹介
JST-RISTEX シニアフェロー 奥和田 久美

<10:40 - 10:50 休憩>

10:50 - プロジェクトからの話題提供（質疑応答含む）

- 11:10 『イノベーションの科学的源泉とその経済効果の研究』
長岡 貞男（一橋大学イノベーション研究センター 教授）
- 11:30 『共同事実確認手法を活用した政策形成過程の検討と実装』
松浦 正浩（東京大学公共政策大学院 特任准教授）

11:30 - 12:25 ディスカッション

モデレーター：奥和田 久美

- ・ プロジェクトへのアドバイス
- ・ プログラム全体としての成果、来年度の公募に向けて
- ・ 文部科学省「科学技術イノベーション政策における『政策のための科学』推進事業」全体においてプログラムが果たすべき役割 等

12:25 - 12:30 まとめ・閉会挨拶

プログラム総括 森田 朗